

能美大橋架け替え工事に着手

～「水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト」始動～

- 霊峰白山を源流とする清流が育んだ歴史文化のまち小松市街地を水害から守るプロジェクトとして、梯川の河川整備を一層推進していきます。
- なお河川整備に伴い、能美大橋の架け替えが必要となりましたが、橋梁管理者である小松市と連携することにより、車道幅を広げるとともに歩道を新たに設けるなど、地域交通の利便性向上・歩行者等の安全確保もあわせて実施することとなりました。
- この能美大橋の架け替え工事に着手（起工式を開催）しますので、お知らせします。

■水害リスクのある梯川

梯川では避難勧告の目安となる氾濫危険水位を超過する洪水が頻発しており、昨年（平成29年）8月の台風5号でも小松市で避難勧告が発表されるなど水害発生リスクがあります。

これまで国土交通省では洪水氾濫を防止するための整備を鋭意進めてきており、河口から約6km付近の白江大橋上まで間の堤防整備が完了しています。

また一昨年には「梯川分水路」も通水したことにより、昨年8月・10月の両洪水において、最大約2mの水位低下効果を発揮して、洪水氾濫を未然に防いでいます。

しかしながら梯川の河川整備はまだ途上にあり、今後より一層の推進が必要となっています。

■水の郷こまつ緊急治水対策プロジェクトと能美大橋架け替え

近年全国的に大規模水害が発生しており、梯川においても治水安全度の向上はますます喫緊の課題となっています。このため特に洪水時の水位上昇が著しい白江大橋（河口から約6km）から荒木田大橋（河口から約9km）までの一連区間について「水の郷こまつ緊急治水対策プロジェクト」として、重点的に河川整備を実施していきます。

なお本プロジェクトの一環として、小松市と連携しつつ能美大橋の架け替えに今年度から着手（起工式を開催）します。起工式の概要は次のとおりです。

能美大橋架替工事起工式 概要

日 時：平成30年9月22日（土）10：00～

会 場：小松市漆町地先（能美大橋上流左岸）

主 催：梯川水系河川改修促進期成同盟会、国土交通省金沢河川国道事務所

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 うきた ひろふみ 浮田 博文 076-264-9910（直通）



河川情報室
@金沢河川国道 Twitter

Twitterでも情報発信しています！

<https://twitter.com/kanazawabousai1>



能美大橋架替工事起工式 会場案内図



国道8号
← 至 白山市

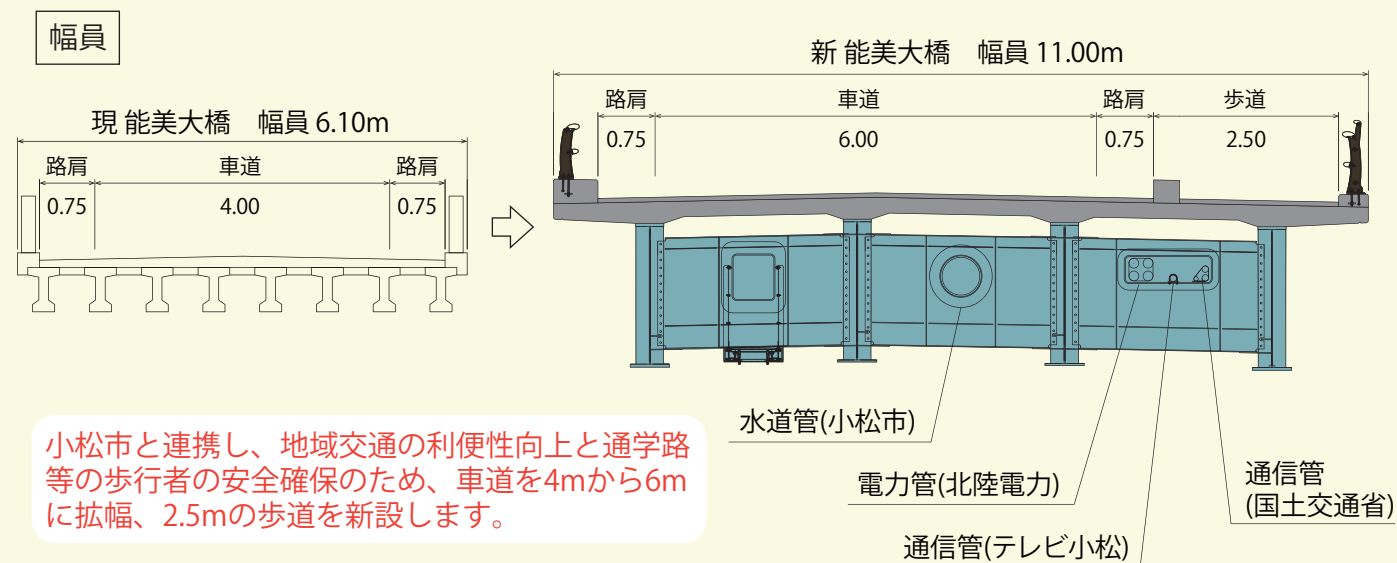
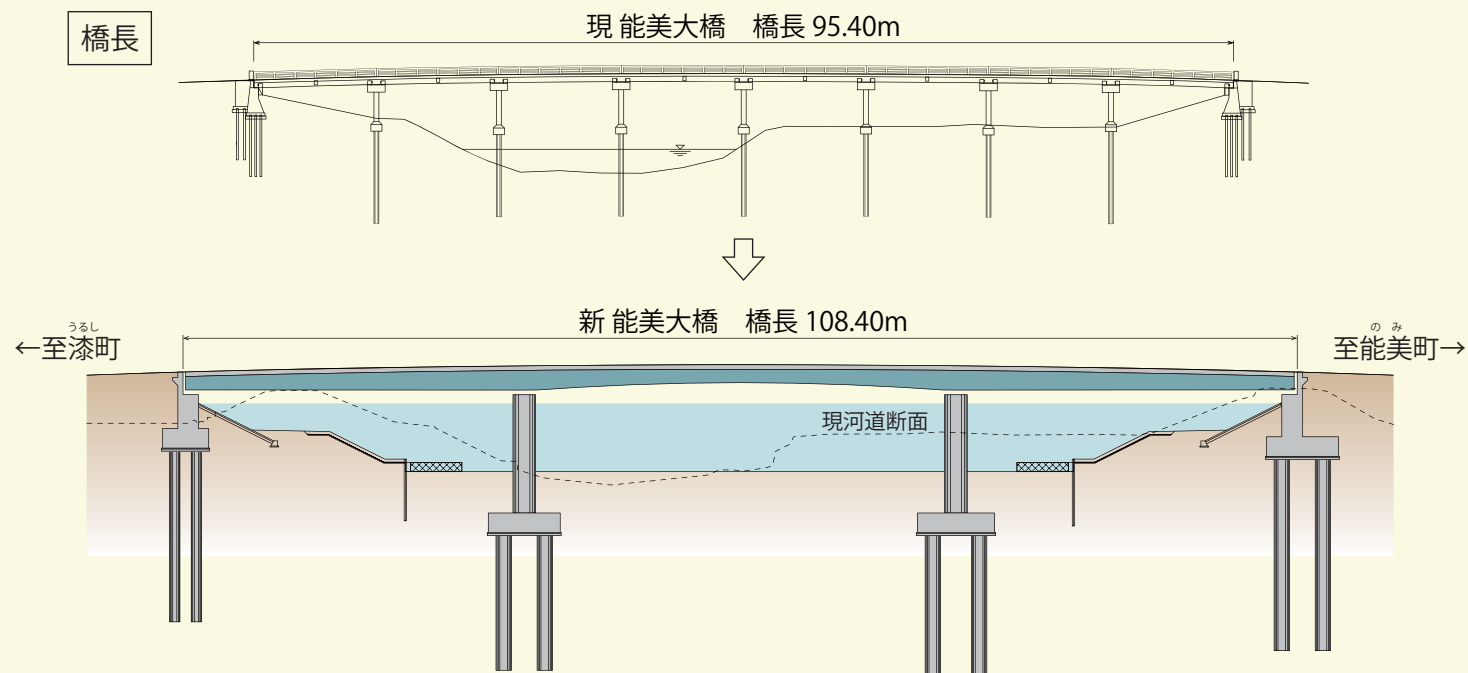
国道8号
加賀市 至 →

← 梯川

能美大橋架替工事起工式 次第（案）

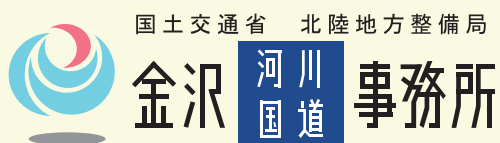
- 1 開 式
- 2 式 辞 梯川水系河川改修促進期成同盟会会長 小松市長
- 3 挨拶 国土交通省 北陸地方整備局長
- 4 祝 辞
- 5 来賓紹介
- 6 事業説明 金沢河川国道事務所長
- 7 鍬入れ式
- 8 閉 式

能美大橋架替工事の概要



	現 能美大橋	新 能美大橋
道路規格	—	第3種第3級
設計速度	—	V=40 km/h
橋 長	L=95.40 m	L=108.40 m
幅 員	B=6.10 m	B=11.00 m
添架利用者	—	国土交通省、小松市上下水道局 北陸電力、テレビ小松

お問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

○金沢河川国道事務所
〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号 Tel(076)264-8800 (代表)

○小松出張所
〒923-0002 小松市小島町ヲ 27-2 Tel(0761)23-4000

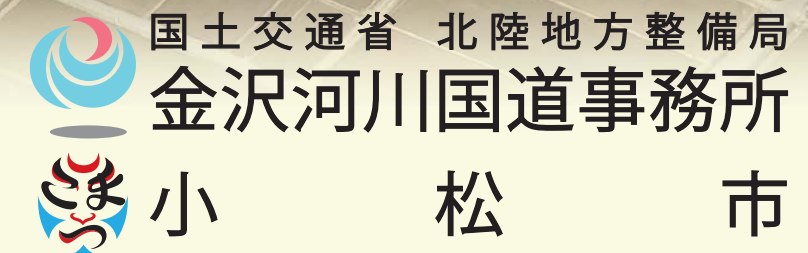
受付時間：土日祝日を除く 9:00～17:00



このパンフレットは、古紙パルプ配合率80%以上の再生紙を使用しています。このマークは、3 R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

～霊峰白山と清流が育んだ歴史文化のまち小松市街地を水害から守る～
水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト

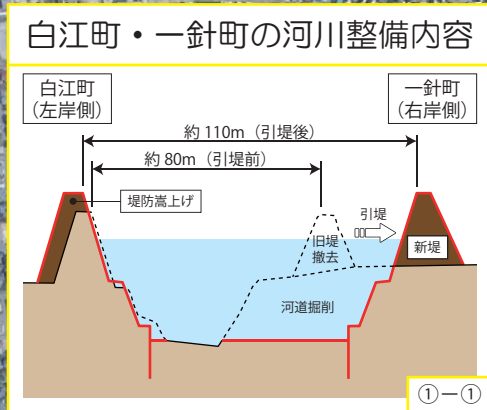
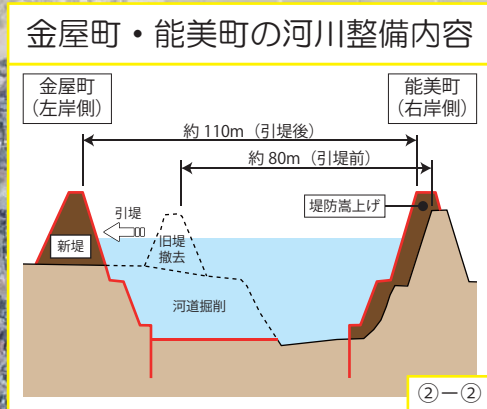
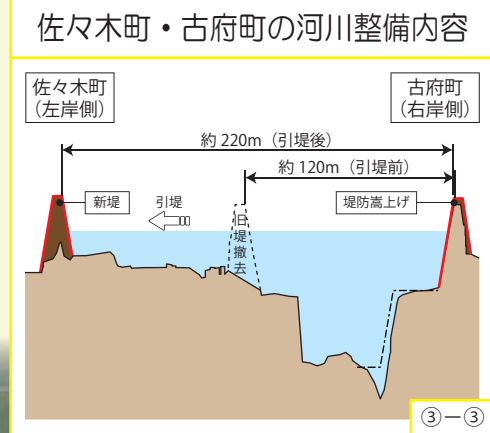
能美大橋架替工事



水の郷こまつ梯川緊急対策プロジェクト

梯川は、昭和 46 年の一級河川指定以降、大規模な引堤や河道掘削工事を進めており、洪水に対する安全度を向上させてきました。平成 29 年度までに河口から白江大橋までの引堤が完了しており、今後もさらなる安全度向上にむけ、洪水時に水位上昇が著しい白江大橋上流の改修を進めていきます。

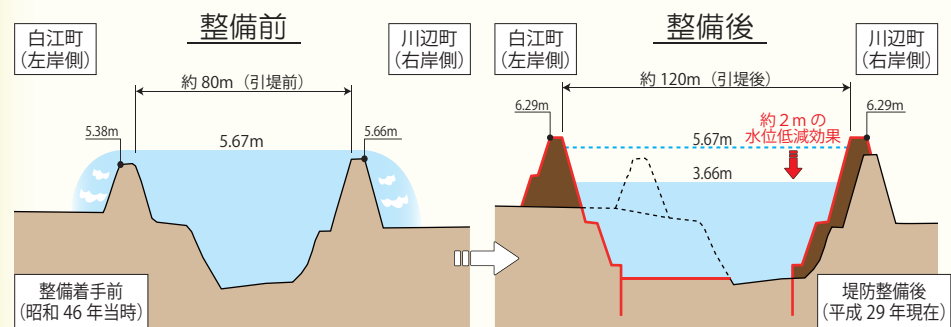
白江大橋上流の主な河川整備の内容として「引堤」「堤防嵩上げ」「河道掘削」を実施します。また、河川改修と併せ、地域交通の利便性向上、通学路等の歩行者の安全確保のため、小松市と連携し、能美大橋の架け替えを行います。



白江大橋までの引堤効果

平成 29 年 8 月 5 日および 10 月 22 日に梯川の埴田 (はねだ) 水位観測所において、避難勧告発令の目安となる氾濫危険水位を上回る洪水が発生しました。梯川の河川改修や上流の赤瀬ダムがなかった場合、改修前の川幅では安全に洪水を流下させることができず、氾濫していたと想定されます。

これまでの梯川改修により、約 2 メートルの水位低減効果があったと考えられ、洪水氾濫を防止することができました。



※1 高さは、「東京湾平均海面 (T.P.)」の標高を示しています。
※2 各水位は、平成 29 年 8 月 8 日の計算値を示しています。



これからの河川改修により期待される効果 【平成 25 年 7 月洪水と同規模の洪水を安全に流下】

白江大橋から荒木田大橋までの河川改修により、観測史上最高水位を記録した平成 25 年 7 月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることができる河川を目指しています。



※1 平成 29 年度河道は、白江大橋までの整備が完了したときの計算水位を示します。
※2 当面整備区間が完了したときの計算水位を示しています。

歴史・文化を伝える埋蔵文化財調査

河川改修予定箇所において、石川県内の歴史と文化を伝える埋蔵文化財調査を石川県の協力のもと実施しています。



※ 写真は、石川県埋蔵文化財センター提供

能美大橋 (新橋)
堤防整備区間
旧堤防区間
平成 30 年 8 月撮影

